



社会福祉法人 長崎いのちの電話
(発行人) 古賀 義 (編集) 広報委員会 〒852-8799 日本郵便長崎北支店 私書箱45号
TEL 095-843-4410 FAX 095-844-3600 ホームページ <http://ngsk4343.sakura.ne.jp>

1～3・4面 寄稿(山本太郎先生)
2面 押淵副理事長挨拶
HP掲載の講義録画紹介 他
4面 令和4年春の公開講演会案内
5・6面 今年度上半期 寄附・賛助一覧 他



<特別寄稿>

～講演会抄録に代えて～

コロナの時代を 我々はどう生きるか

長崎大学熱帯医学研究所
教授 山本 太郎

【プロフィール】

1964年生まれ。90年長崎大学医学部卒業。医師、博士(医学、国際保健学)。京都大学大学院医学研究科助教授、外務省国際協力局勤務などを経て、長崎大学熱帯医学研究所教授。専門は国際保健学、熱帯感染症学、感染症対策。アフリカ、ハイチなどで感染症対策に従事。著書に『感染症と文明—共生への道』(岩波新書)、『疾病と人類 新しい感染症の時代をどう生きるか』(朝日選書)など。

はじめに

今このコロナ・パンデミックの中において、私たちは、今後どのような社会に生きることになるのか、答えのない話だが、それを考える上でのヒントや論点を本稿では考えてみたい。その前に、私たちの研究室が行っている活動や研究を紹介した上で、新型コロナウイルス感染症について、歴史的視点も含め、今直面している世界とこれから迎える社会について考えてみたい。

新型コロナウイルスの特徴

新型コロナウイルス感染症はコロナウイルスによって引き起こされる。その名前は、ウイルスが表面に突起を持っていて、ちょうどそれがクラウン(王冠)のような突起だということで、そう名付けられた。ウイルス表面は脂質の二重膜があって、これはアルコール消毒が有効であるという

ことを意味する。遺伝子は一本鎖のRNAでできていて、それは、このウイルスが極めて変異しやすいウイルスだということを知ってもらう。それはすなわち、ワクチンや治療薬が開発されても、100パーセントの有効性が続くということではなく、部分的に効果のあるワクチンや治療薬を手に入れたら、このウイルスに対処していく事になるということを示唆している。

そうしたコロナウイルスだが、実は、新型コロナウイルスだけではなく、人間に感染するコロナウイルスは7種類あることが知られている。そのうち四つはヒトコロナウイルスと呼ばれ、風邪様症状を起こすが、あまり重症化しない。一方、残り三つはSARS、MERS、今回の新型コロナウイルスで、重症化する危険があることがわかっている。

それらを遺伝子情報で解析してみると、新型コロナウイルスは2003～04年に流行したSARSに非常に近いウイルスだということがわかる。

一方で、今回のコロナウイルスはSARSウイルスと異なり、SARSは症状が出てから感染が起こるのに対し、新型コロナウイルスは症状が出る前から感染が起こる。それが、新型コロナウイルスの感染予防を難しくしている。

一方で、世界を見ると、現時点で2億5000万人を超える感染者、約500万人を超える死亡者が出ていて、この状況から考えると、新型コロナウイルスの根絶はもはや難しいだろうというのが、世界の研究者、専門家の見解になっている。

21世紀の公衆衛生の課題は共生

根絶ができないとすれば、今後どうなっていくかが重要となる。それを1918年に流行したパンデミック・インフルエンザ(スペイン風邪)に見てみたい。

このパンデミックはアメリカの東海岸で始まり、ヨーロッパ、ロシア、アフリカ、アジアに広がった。1918年は第一次大戦最後の年で、アメリカがヨーロッパ戦線に参戦をした年である。そうした世界史的な事情がウイルスの流行を早めた。戦争の前線には塹壕や兵舎があり、今で言う三密の状況だった。このときは2年半で3回の流行の波があり、

「3面に続く」

<相談電話> **095-842-4343**

年中無休 9:00～22:00(第1・第3土曜日は9:00～翌9:00)

0120-783-556

※毎月10日 全国一斉フリーダイヤル

8時～翌8時 自殺予防いのちの電話

※コロナ禍 毎日フリーダイヤル16時～21時



改めて就任のご挨拶

副理事長 押 瀧 礼 子

去る6月の社会福祉法人長崎いのちの電話の役員改選に当たり、長きにわたりこの活動をけん引して下さった中根前理事長さんが退任されました。大きな区切りのとき、と思い、中根先生と歩調を合わせ私も身を引くつもりでおりましたが、皆様からのお声がけもいただき、理事に留まり、また副理事長として5期目のお役を継続することになりました。

かねて申していることですが、私は、無償のボランティア活動を続ける電話相談員さんたちに尊敬の念を強く持っております。相談活動の経験のない私ですが、私のお役目は、こうした相談員さんたちの活動環境の整備に意を尽くすことであろうと自負しております。

この「たより」紙が読者の皆様のお手許に届くころに、電話相談員第28期生の認定式が行われ、新しいお仲間が増えます。また、29期生の養成講座も後期日程に入っております。こうして毎年新たに活動に加わって下さる心ある皆さんが先輩相談員の皆さんと共に末永く活動を続けられるように、まさに「最後のお勤め」の積りで力を尽くす所存です。

どうぞ、今後とも宜しくお願いたします。

相談員第28期生 9名が誕生

長崎いのちの電話相談員養成講座第28期生・9名は、12月11日に晴れて相談員として認定を受け、80有余名の現役相談員の仲間に加わることになります。

昨年来の「コロナ禍」は、養成講座日程にも大きな影響を与え、例年よりひと月以上遅い、新相談員誕生となりました。

また、29期生養成講座後期日程には13名が進み、11月から来春にかけてはロールプレイなどを主体として研修。そして4月からは約半年間の実践研修となります。

相談電話開局27周年記念公開講演会 山本太郎先生を講師に開催

当法人の相談電話開局(1994.11.5)27周年を記念し、去る10月31日に、山本太郎先生(長崎大学熱帯医学研究所教授)を講師にお迎えし開局記念公開講演会を開催しました。

演題は「コロナの時代を我々はどう生きるか」。会場は長崎市内のチトセピアホール。幸いコロナ禍は収まりつつある状況でしたが、念の為入場制限をし、オンライン聴講併用の公開講座でした。

なお、講座内容のホームページ掲載はしていません。代わって山本先生からは講義抄録に代えて、「たより」紙に寄稿を頂戴し、1面、3・4面に掲載しております。

弱い人に寄り添って
長崎いのちの電話講演
長崎いのちの電話(古賀義理事長)の開局27周年記念公開講演会が10月31日、長崎市千歳町のチトセピアホールであり、山本太郎・長崎大学熱帯医学研究所教授が「コロナの時代を我々はどう生きるか」と題し講演した。ハイチ地震や東日本大震災などの現場へ救援医療に出向いた経験が豊富な山本教授は、「医療崩壊の現場では命の選別が迫られる。仕方がないと自分に言い訳している、弱い人を守るといった基本的な倫理観が揺らぐ」と振り返り、現在のコロナ禍においても「ウイルスと闘って倒すことより、コロナ患者や困窮した弱い人々に寄り添う方が大事なのではないか」と訴えた。

同電話の相談員や一般参加者ら約100人が訪れ、熱心に耳を傾けた。(天塚泉)

コロナ禍において一人一人の生に寄り添う必要性を訴える山本教授
＝長崎市、チトセピアホール

長崎いのちの電話(古賀義理事長)の開局27周年記念公開講演会が10月31日、長崎市千歳町のチトセピアホールであり、山本太郎・長崎大学熱帯医学研究所教授が「コロナの時代を我々はどう生きるか」と題し講演した。ハイチ地震や東日本大震災などの現場へ救援医療に出向いた経験が豊富な山本教授は、「医療崩壊の現場では命の選別が迫られる。仕方がないと自分に言い訳している、弱い人を守るといった基本的な倫理観が揺らぐ」と振り返り、現在のコロナ禍においても「ウイルスと闘って倒すことより、コロナ患者や困窮した弱い人々に寄り添う方が大事なのではないか」と訴えた。

長崎新聞(2021.11.9)より ※長崎新聞の記事・写真については、二次使用許可済

長崎いのちの電話ホームページ掲載

講演・講義録画一覧 (2021年5月～9月)

摘要	講師名(敬称略): 主要な所属先	演 題 等
春の講演会	①講演 中村まり子 長崎県助産師会 ②鼎談 中村まり子・柿田多佳子 長崎純心大学 高野幸恵 トムテのおもちゃ箱	生きづらさを抱える女性たち ～育児不安や産後うつを支える～
相談員29期生養成講座・①	澤 宣 夫 長崎いのちの電話	ボランティアとは
同・②	長 尾 博 活水女子大学	カウンセリングとは(基礎編)
同・③	内 村 公 義 長崎ウエスレヤン大学	死ぬこと 生きること
同・④	中 根 允 文 長崎いのちの電話	精神障害について(統合失調症・うつ・双極性障害など)
同・⑤	柿 田 多佳子 長崎純心大学	子ども・子育ての現状への理解を深める
同・⑥	今 村 明 長崎大学病院	発達症とパーソナリティ障害について
同・⑦	原 口 芳 博 原口カウンセリングルーム	依存症の理解と対応(アルコール・ギャンブル・インターネット等)
同・⑧	中 村 尚 志 なかむら総合法律事務所	生活の中での法律について(借金・離婚・相続など)
同・⑨	平 山 由美子 DV防止ながさき	性暴力被害者支援について
同・⑩	澤 宣 夫 長崎純心大学	これからの高齢化社会と福祉・介護のあり方

※秋の開局27周年記念公開講演会については、HP公開していません。

当時の世界人口は20億人（現在は約77億人）ほどでしたが、5～6億人が感染して収束した。割合にして25～30パーセントとなる。

こうした事実は以下のような推測をさせる、今回の新型コロナウイルスも人口のある一定程度が集団免疫を持たないと収束に向かわないと。

個人的な感触としては、人口の7割ほどが免疫を獲得すると、流行は収束に向かうと考えている。そのためには、流行を制御しつつも、集団免疫の獲得を目指す必要がある。一方、流行を制御には、ウイルスを強毒化させない淘汰圧としての作用もある。この点も重要となる。

一方で、ウイルスの目線から感染症を見るとどうなるか。ウイルスは自分自身だけでは複製や増殖ができない。複製には宿主の存在が必要である。絶対的に宿主の存在を必要とするウイルスが、究極的には宿主の存在を否定する方向に進化することはないというのが、現在のウイルス研究者の主流になっている。

さらに言えば、私たちは「私」というものが個別に存在していると考えがちだが、実は我々の身体には100兆個を超える微生物が常在していて、その重さは2～3キログラムくらいで、心臓や肝臓などといった臓器の重さに匹敵する。

そうした微生物が、私たち人間の遺伝子と対話をしながら生きているのが「私」である。

そうした微生物の攪乱は、いくつかの病気を起こすことが近年わかってきた。肥満や糖尿病、自閉症、食物アレルギー、炎症性腸疾患などで、共通点としては、過去30～50年に急増した病気である。

要するに、そもそも我々と共存している微生物があり、その存在をやっつけたり、その存在が失われたりすると、私たち自身の健康が損なわれることがわかってきた。

もう少し言えば、そうした我々と常在している細菌の存在は、いくつか根源的な疑問を我々に投げかける。それは「私」とは一体何者だろうといった疑問とも言える。

「私」という個別のものがあると思っていたが、実は私たちと常在している細菌を含めての「私」というものしかないのかもしれない。少し哲学的だが、そうしたことを考えさせる。

そうした中、今回のパンデミックが起こり、当初それを戦争に例えるメッセージを出した人たちが世界にたくさんいた。「新型コロナウイルスとの戦争に打ち勝とう」あるいは「オリンピックを新型コロナウイルスに勝利した人類のモニュメントとしての祭典にしよう」などのメッセージだ。

しかしこれをウイルスとの戦争と捉えたがゆえに社会が息苦しくなったということもあるのではないかと。本当は、ウイルスは倒すべき相手ではなく、我々がどこかで何らか

の落としどころを見つけて仲良くしていく、共存していく相手であるのではないかと、考えた。今回のパンデミックでは、我々の目の前にあるのは倒すべき相手ではなく、守るべきもので、それは、感染症で重症化して亡くなる人の命であり、パンデミックで社会的、経済的に困窮した人の生活である。これを戦争だと言ったがゆえに、戦いに勝つまでは自粛しなければならないとか、自粛警察とか、世の中が息苦しくなった。

東京大学の加藤陽子さんという歴史学者は、戦争の究極的な目的は、相手の基本的秩序の書き換えだということを行っている。だとして、私たち人間は、ウイルスの基本的秩序の書き換えが可能なのだろうか。あるいは、それはしてよいものなのだろうか。

今回のパンデミックを含めて、21世紀の公衆衛生の課題というのは「共存」や「共生」という概念をどこかに包摂したものである必要がある、と考える。

感染史から見る新型コロナウイルス問題

一方でここでは、人間が自然の一部である限り、感染症の出現はなくなるということを考えてみたい。それ

を示唆する二つの研究がある。一つは、アマゾンの先住民を対象に行われた研究で、もう一つは、1846年に大西洋の島で行われた調査の結果だ。これらの研究で明らかになったことは、麻疹、インフルエンザ、百日咳、天然痘といった感染症は、数千人、数万人の人口集団では生き残ることができないということだった。

例えば、農業が始まる

前の狩猟採取社会、100人くらいの血縁を中心にして暮らしている社会があったとして、今回の新型コロナウイルスが出てきたとしても、ウイルスは、集団中であつという間に広がった後、やがて行き先を失って消滅したに違いない。そうした感染症が恒常的に流行できるようになるには、数10万人規模の人口が必要だった。それは農業が始まってからとなる。食糧の増産及び定住により人口が増加した。同時に、野生動物の家畜化が行われ、動物のウイルスだったものがヒト社会に入ってきて、増加した人口を背景に定着した。それが人類史の一部である。

そうした感染症によって人類は大きな困難を抱えてきた。しかし一方で、感染症を有する社会が強いという側面があったことも事実だ。感染症に対する免疫を持つことによって我々は様々な環境に進出することができた。あるいは、コロンブスの新大陸再発見後に起こったこともそうだった。ヨーロッパ人が持ち込んだ感染症によって新大陸の住民たちはバタバタと斃れた。それが新大陸の植民地化を進めたという歴史研究者もいる。

「4面に続く」



歴史研究家のウィリアム・H・マクニールによると、当時、感染症は神の意志や罰と捉えられていたという。そうした神の意志や罰がヨーロッパ人には影響を与えず、一方的に自分たちに降りかかり、多くの同胞が亡くなる。ヨーロッパ人による征服は、神の意志かもしれないと多くの新大陸住民が思ったかもしれない。そうでなければ、この時のヨーロッパによる新大陸の植民地化は理解できないと。

パンデミックは社会変革の先駆けとなる

歴史を振り返れば、私たちは、幾度ものパンデミックを経験してきた。

そうしたパンデミックは時として、社会変革の先駆けとなる。

14世紀にヨーロッパで流行したペスト(黒死病)は、最終的にヨーロッパ全土を覆った。この時、ヨーロッパでペスト流行を免れた人はいなかったという。否、一時的に流行を免れたとしても、やがて流行は、次の機会にその集団を襲った。居住地や宗教や生活様式に関係なく、ペストはヨーロッパを舐め尽し、ヨーロッパ社会は、人口の4分の1から3分の1を失った。結果、ペストの流行はその後のヨーロッパ社会を根底から変えた。

ペストがヨーロッパ社会に与えた影響は、少なくとも三つあった。第一に、労働力の急激な減少が賃金の上昇をもたらした。農民は流動的になり、農奴やそれに依存した荘園制の崩壊が加速した。第二に、ペストの脅威を防ぐことのできなかった教会はその権威を失い、一方で国家というものが人々の意識のなかに台頭してきた。第三に、人材の払底が既存の制度の中であれば登用されることのない人材の登用をもたらし、社会や思想の枠組みを変える一つの原動力になった。結果として、封建的身分制度は実質的に解体へと向かう。同時にそれは、新しい価値観の創造へと繋がっていった。半世紀にわたるペスト流行の後、ヨーロッパは、ある意味で静謐で平和な時間を迎えた。それが内面的な思索を深めさせたという歴史家もいる。気候の温暖化も一役買った。そうした条件が整うなかでやがて、ヨーロッパはイタリアを中心にルネサンスを迎え、文化的復興を遂げる。

ペスト以前と以降を比較すれば、ヨーロッパ社会は、まったく異なった社会へと変貌し、変貌した社会は、強力な主権国家を形成する。中世は終焉を迎え、近代を迎えたヨーロッパは、やがて新大陸やアフリカへと踏み出していくことになる。これがペスト後のヨーロッパ世界であった。

アフター・コロナの時代を考える

ヨーロッパにおける中世ペストの流行は、教会から国民国家への転換点となった。今回の新型コロナの汎世界的流行(パンデミック)も私たちの社会を変えていく先駆けとなる可能性は高い。問題は、それがどのような社会かということになる。国民国家からそれを超えた国際的な連帯への転換点となるのか。あるいは監視的分断社会の訪れの始まりになるのか。人や物、情報が地球規模で流動化するグローバル化によって今回のパンデミックが特徴づけられるとすれば、世界がこれほど驚愕している姿は示唆的でもある。

コロナ後の社会が、情報技術(IT)を主体にした社会へと転換するのは間違いない。しかし情報技術はあくまで道具であって、目的ではない。それをどのように使うかは、私たち一人ひとりが考えるべき問題として残る。

社会がどうあるか、どう変わっていくか、どういう希望のもとにあるべきか、というのは、一人ひとりの心の中にしかない。それが合わさって、未来への希望につながる。言葉を換えて言えば、選択可能な未来は私たちのなかにしかないということかもしれない。

多くの災厄が詰まっていたパンドラの箱には、最後に「エルピス」と書かれた一欠片が残されていた。古代ギリシャ語でエルピスは「期待」とも「希望」とも訳される。パンドラの箱を巡る解釈は二つある。パンドラの箱は、多くの災厄を世界にばら撒いたが、最後には希望が残されたとする説と、希望あるいは期待が残されたために人間は絶望もすることもできず、希望と共に永遠に苦痛を抱いて生きていかななくてはならなくなったとする説である。パンドラの箱の物語は多分に寓意的であるが、暗示的でもある。しかしそれがどちらであろうと、希望を未来へとつなげていくのは私たち自身でしかない。

長崎いのちの電話
2022(令和4)年

春の公開講演会

withコロナの時代に向かって(仮題)

改めて問われる「聴くこと、寄り添うこと」の意味・意義

日時：令和4年5月14日(土) 14時より

会場：長崎県社会福祉センター 5階大会議室

※会場・オンライン聴講の併用(詳細はHP掲載)

講師：富安兆子先生

北九州いのちの電話

副理事長兼研修委員長



ご寄付・ご支援ありがとうございます

いのちの電話の運営は、皆様からの浄財によって賄われております。2021年4月～2021年9月に賛助会費や寄付金を

を頂戴した皆様のお名前(敬称略)を記し、感謝の意を表します。また、お名前は省略しますが、物品寄付もたくさん頂戴しました。ありがとうございました。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

賛助会費

(515,000円)

＜個人＞	青山 周広	麻生 忠史	天野美穂子	荒川 明継	泉 博正	井石八千代	一ノ瀬幹子
	井手 保則	伊藤美智子	井之上早苗	浦頭 敬子	岡村 衛	尾上 重道	小中恵理子
	小原 玲子	柿田 淳	柿田多佳子	川口 徹男	川端 辰長	北島 陽夫	木下 洋子
	後藤美佐子	瀬口 卓也	田口 春男	都野 弥生	富永 裕之	永石 賢二	仲尾 勝利
	野口 一男	波多野 徹	浜崎 久美	原口 俊哲	平井 浩子	藤澤久美子	古川サキ子
	牧 多津江	牧 千尋	町田トシエ	松尾 和之	松尾 文子	宮崎 涼子	牟田 蘭子
	吉田 晴久	若松 純子					湯口 隆司

＜法人・団体＞ *常在寺 *波多野アンドパートナーズ会計事務所 *学校法人向陽学園 *学校法人純心女子学園
 *(宗)瑞光寺 *ダイエー工業株式会社 *テクノ通信株式会社 *西九州マリンサービス株式会社 *日光タクシー株式会社
 *(株)チョープロ *九州北部税理士会長崎支部 *光洋石油(株) *佐世保市医師会 *(有)オーケー薬局
 *じゅうばし内科医院 *たかすぎ内科クリニック *はやし内科

寄付金

(1,185,500円)

＜個人＞	有馬 和彦	石丸 忠彦	井石 哲哉	伊丹洋太郎	伊東 勇輝	今村 晶子	大石 政江
	大脇 京子	大富 英生	岡 六四	奥村 典男	押淵 礼子	川上 明則	川浪由喜子
	菊谷 寛之	来海 礼規	清原 龍夫	熊崎 啓代	古賀 義	小瀬良愛子	境 育子
	庄司 千香	下山 高生	下山 時生	進藤 義則	末長 裕幸	外尾 明利	平 稔
	田中 一成	田中 悟郎	田村 繁幸	田中 直孝	田中 仁美	鳥巢 維文	中尾 彰伸
	中谷三千代	中村 尚志	中富 昌夫	中村 政子	野島 一彦	原田真奈美	原田美佐子
	深堀千恵子	藤本小夜子	古屋 治	本田 文子	本田 圭助	松元 定次	松尾みち子
	宮崎 民子	三宅 通	宮田 雄吾	森 敬子	森 光徳	森川 郁彦	山口 史彦
	山本 幸子	湯川 悦子	米倉 久登	渡邊 才人	渡辺 頼子	匿名 5名	山田 美保

＜法人・団体＞ *(医)厚生会虹が丘病院 *飯島商事(株) *株式会社クレメイツ *長崎県民共済生活協同組合
 *宗教法人昭徳寺 *(株)ニーテックハマナカ *(医)原田医院 *宗教法人昭徳寺 *大坪整形外科 *長崎キリスト教協議会
 *長崎北ロータリークラブ *平坂製薬株式会社 *明練寺

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、口座記号番号及び金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入ください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行または郵便局の払込機能付ATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書をゆうちょ銀行または郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証等を必ずお受け取りください。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙

5万円以上
添 付

印

この場所には、何も記載しないでください。

※シシ目で切り取ってご利用ください。
 ※払込手数料のご負担は不要です。



♡電話相談について

いのちの電話は、誰にも相談することができず、ひとりで悩んでいるひとのための電話相談窓口です。名前をいう必要はありません。

友のように しみじみ
095-842-4343

相談時間／午前9時～午後10時まで

毎月第1・第3土曜日は24時間電話をお受けしています。(午後10時～翌朝午前9時まで相談時間を延長)

毎月10日は自殺予防デー 24時間フリーダイヤル ☎0120-783-556 午前8時～翌朝午前8時まで

コロナ禍で苦しむ方へ 毎日フリーダイヤル ☎0120-783-556 午後4時～午後9時まで

資金援助ボランティアとして活動を支えて下さい

「長崎いのちの電話」は、相談員をはじめ全てボランティアで運営されており、その活動は寄付金・賛助会費・助成金で賄われています。あなたも「資金援助ボランティア」として「長崎いのちの電話」を支えてくださいませんか。ご協力をよろしくお願いいたします。

税制上の優遇措置があります

個人の場合：所得控除・個人県民税控除が受けられます。

法人・団体の場合：損金算入が受けられます。

毎年一定の資金援助して下さる方は、**賛助会員**となります。

★**賛助会費** 個人会費：1万円・5千円・2千円
法人会費：5万円・3万円・2万円・1万円

★**寄付金** 金額は随意です。随時お受けいたします。

ご送金先 郵便振替01870-3-40716

加入者名「社会福祉法人長崎いのちの電話」

※下部の払込取扱票を切り取ってご利用いただくと便利です。

●「銀行振込み」をご希望の方は、事務局までご連絡ください。

事務局TEL 095-843-4410

払込取扱票

02	口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。		通常払込料金 加入者負担								
口座番号		口座番号(右詰で記入)		金額							
0	1	8	7	0	3	4	0	7	1	6	
加入者名		料		金		備		考			
*(社福) 長崎いのちの電話		/									
<p>●<input type="checkbox"/>に✓を入れ、賛助会費または寄付、金額をご指定ください。</p> <p><input type="checkbox"/> 賛助会費</p> <p>個人会費 <input type="checkbox"/> 10,000円 <input type="checkbox"/> 5,000円 <input type="checkbox"/> 2,000円</p> <p>法人・団体会費 <input type="checkbox"/> 50,000円 <input type="checkbox"/> 30,000円 <input type="checkbox"/> 20,000円 <input type="checkbox"/> 10,000円</p> <p><input type="checkbox"/> 寄付 (金額は随意です。)</p>											
千		百		十		万		千		百	
-		-		-		-		-		-	
日		附		印		日		附		印	
様		附		印		日		附		印	

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0	1	8	7	0	3	通常払込料金 加入者負担
加入者名	*(社福) 長崎いのちの電話						
金額	千	百	十	万	千	百	十
おなまえ	*						
ご依頼人	*						
料	/						
金							
備							
考							

※シン目で切り取ってご利用ください。
※皆様のご支援をお待ち申し上げます。

各票の※印欄は、ご依頼人様において「記入ください。」

記載事項を訂正した場合はその箇所に訂正印を押してください。

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) これより下部には何も記入しないでください。

この受領証は、大切に保管してください。